

平成29年4月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成29年3月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成29年3月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

| 年 月 | 平成 28 年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 572 | 559 | 529 | 473 | 468 | 738 | 551 | 401 | 525 | 362 | 562 | 563 |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 92,445 | 96,278 | 70,156 | 74,405 | 68,455 | 91,113 | 88,556 | 61,925 | 69,423 | 55,772 | 96,989 | 76,584 |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 272,521 | 274,164 | 275,538 | 276,891 | 278,360 | 280,816 | 282,791 | 284,866 | 286,494 | 287,842 | 289,389 | 290,820 |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 60,316 | 60,224 | 59,769 | 59,413 | 59,478 | 57,133 | 57,278 | 58,715 | 58,608 | 59,136 | 60,882 | 61,201 |
| 一般顧客 | 49,244 | 47,950 | 48,396 | 48,825 | 49,273 | 48,465 | 48,378 | 49,173 | 49,046 | 48,987 | 49,458 | 49,201 |
| 金融法人 (B to B) | 11,072 | 12,274 | 11,373 | 10,588 | 10,205 | 8,668 | 8,900 | 9,541 | 9,562 | 10,148 | 11,423 | 12,000 |

| 年 月 | 平成 29 年 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| 営業収益 (単位：百万円) | 458 | 412 | 521 | | | | | | | | | |
| 外国為替取引高 (単位：百万通貨単位) | 95,875 | 77,214 | 75,386 | | | | | | | | | |
| 顧客口座数 (単位：口座) | 292,553 | 294,472 | 296,861 | | | | | | | | | |
| 外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円) | 60,221 | 60,814 | 60,325 | | | | | | | | | |
| 一般顧客 | 49,392 | 49,446 | 49,784 | | | | | | | | | |
| 金融法人 (B to B) | 10,828 | 11,368 | 10,541 | | | | | | | | | |

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
4. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
5. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 3月次の概況 >

3月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル=112円台後半で取引が始まり、FRB（米国連邦準備制度理事会）幹部の利上げに前向きな発言を受けてドルが買われ、10日には115円台半ばをつけましたが、15日に開催されたFOMC（米国連邦公開市場委員会）にて年間の利上げ見通しが据え置かれるとドル売りが優勢となりました。更に、トランプ政権によるオバマケア代替法案の調整が難航していることが伝わると、トランプ政権の政策実現能力に対する懐疑的な見方が台頭し、オバマケア代替法案の撤回を受けて27日には月の安値となる110円台前半までドルは下落しました。その後はドルの買い戻しもあり、111円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル／円と同様に軒並み値動きの小さい相場推移が継続し、米ドル／円を含めた全体としての変動率は平成29年3月期で最低水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月比2%減少の753億通貨単位となりました。一方、営業収益は、FXカバー収益の収益性の改善や手数料収入等の増加等もあり前月比26%増加の521百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は前月比2,389口座増加の296,861口座と前月と比べ増加ペースが拡大し、外国為替取引預り証拠金は、B to B取引先である金融法人からの預り証拠金の減少があったことから、前月比488百万円減少の60,325百万円となりました。

以 上